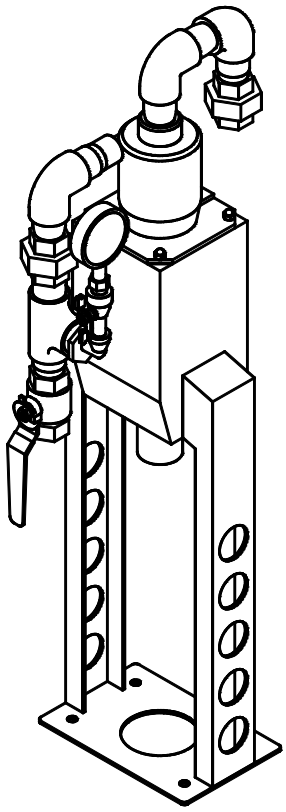
取扱説明書

マックスピン　ＣＬ－＊＊ＬＷ



この度はお買い上げ頂きありがとうございます
ご使用の前にこの説明書を必ずお読み下さい

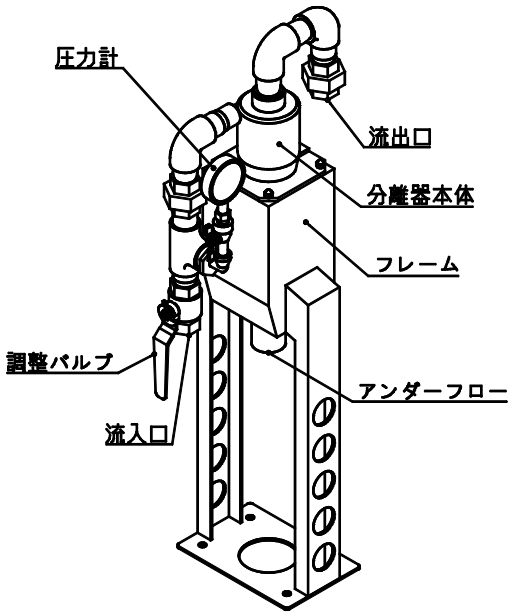
株式会社　白山機工

住　所：〒924－0004　石川県白山市旭丘２丁目２番地
電　話：076－274－1188
Ｆ Ａ Ｘ：076－274－4455
E-mail：eigyou@hakusankiko.co.jp

1．概要

本機は遠心式固液分離器で、液中に含まれる粒子より２０μm程度の粒子を分離除去する目的に威力を発揮します。スラリー粒子の対象物としては、クーラント液中の鋳物削粉、砥粒粉、鉄類研削粉等が最適です。　　※　対象物比重２.７以上

2．各部名称



3．仕様

3.1. 処理流量

タイプ	供給圧力 [MPa]	供給流量 [L/min]	処理流量 [L/min]
CL－30LW	0．15	25	22
	0．2	30	25
	0．3	35	30
CL－50LW	0．1	35	32
	0．2	45	40
	0．3	55	50
CL－70LW	0．1	55	50
	0．2	70	65
	0．3	85	75
CL－100LW	0．1	70	65
	0．2	95	90
	0．3	110	100
CL－200LW	0．1	150	135
	0．15	175	157
	0．2	205	185
	0．3	245	220
CL－300LW	0．1	215	195
	0．15	255	230
	0．2	290	260
	0．3	345	310

3.2. 性能

９０%除去粒子径　２０μm(アルミニウム)

4．圧力設定

必ず圧力を設定して下さい。
供給ポンプ稼動後、圧力調整バルブで供給圧力を範囲内に設定して下さい。

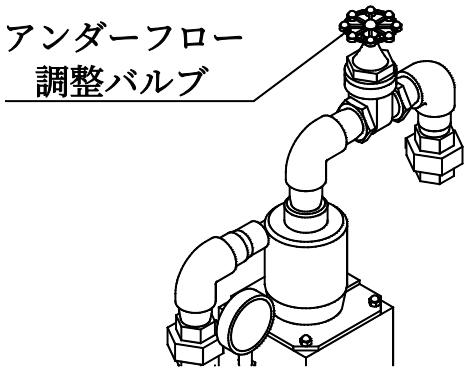
タイプ	圧力設定範囲 [ＭＰａ]	推奨範囲 [ＭＰａ]
ＣＬ－３０ＬＷ	０．１５ ～ ０．３	０．２ ～ ０．３
ＣＬ－５０ＬＷ	０．１ ～ ０．３	０．２ ～ ０．３
ＣＬ－７０ＬＷ	０．１ ～ ０．３	０．２ ～ ０．３
ＣＬ－１００ＬＷ	０．１ ～ ０．３	０．２ ～ ０．３
ＣＬ－２００ＬＷ	０．１ ～ ０．３	０．２ ～ ０．３
ＣＬ－３００ＬＷ	０．１ ～ ０．３	０．２ ～ ０．３

5．アンダーフロー調整バルブについて

一部機種には『アンダーフロー調整バルブ』が付いています。
(CL-100LW、CL-200LW、CL300LW は標準)

『アンダーフロー調整バルブ』はアンダーフローが適切に行なわれない場合のみ調整してください。(通常は全開)

⚠ 注記 『アンダーフロー調整バルブ』を閉め過ぎますと処理流量が減少します。



6．使用上の注意

6.1．用途

本機は２次濾過装置として使用して下さい。

⚠ 注記 本機に供給するクーラント液は５００μm以下の前処理を行って下さい

6.2．クーラント液

本機に供給するクーラント液は水溶性として下さい。

⚠ 注記 油性での使用は不可となります。

6.3．アンダーフロー配管

本機に供給するクーラント液中に大きな異物が含まれていたり、粒子濃度が非常に濃い場合、アンダーフロー配管が目詰まりを起こす事があります。

⚠ 注記　アンダーフロー配管が目詰まりしたままでは、分離効果は得られません。速やかに目詰まりを排除して下さい。

アンダーフロー配管の先端はタンク内の液面に浸して下さい。

⚠ 注記　ポンプ停止時にサイフォン現象により液の移動が起こることがありますのでご注意下さい。

6.4．オーバーフロー配管

オーバーフロー(クリーン液)配管は接続部口径と同一か、それ以上の口径の配管を接続して下さい。ＣＬ－７０／１００ＬＷは３２Ａ以上、ＣＬ－２００／３００ＬＷは５０Ａ以上として下さい。

⚠ 注記　オーバーフロー配管の圧力損失が大きい場合アンダーフロー量が多くなります。（処理流量が減少します）

6.5．日常点検

本機稼動中に以下の確認を行って下さい。

- 設定圧力
  圧力計が設定範囲内を指しているか確認して下さい。
- アンダーフロー配管の目詰まり
  アンダーフロー配管に接続されているホースから液の流れがあることを確認して下さい。

⚠ 警告　部品の交換等により本機を分解する際は、必ず機械の停止を確認してから行って下さい。

7．保証

- 本装置の保証期間は、工場出荷より起算して１年間です。１年以内に正常なご使用にもかかわらず、機器の故障、不具合が生じた場合は、その部分について無償で修理、交換致します。ただし保障範囲は、不具合部分等の機械的保証までとし、故障に起因する種々の出費、損害の保証はいたしません。
- 保証期間に関係なく、下記原因による不具合等に対する技術員派遣、修理、交換等の発生費用は有償となります。
  ① 据付、配線、操作、保守、点検のための遵守、禁止事項を守らなかった場合
  ② 承諾なしでの修理、改造をした場合
  ③ 当社が納入していない機器に起因する場合
  ④ 天災、天変地異による災害による場合
  ⑤ クーラントの変更など仕様と異なる使い方をした場合
- 原因が不明確な場合は、協議の上、処置を決定することと致します。

（マックスピン）
２０１２－０２